

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修6 データを活用した母子保健施策に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

現在、各自治体において「健やか親子21（第2次）」の推進、母子保健計画における「健やか親子21（第2次）」の指標を踏まえた目標設定を依頼しており、成育医療等基本方針に基づく施策の実施状況に関する評価指針においては、「健やか親子21（第2次）」の指標が活用されている。各自治体は、その地域の特性に応じた施策を策定し実施する必要がある。その際、施策の実施状況等を客観的に検討・評価し、必要な見直しにつなげるPDCAサイクルに基づく取組を適切に実施する必要がある。本研修では、母子保健データの利活用の知識を身につけ、地域においてPDCAサイクルを適切に構築することで、自治体における事業の評価・立案等に活かすこと目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村の母子保健担当者

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
- ※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年11月28日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年12月12日（月）～1月11日（水）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:05	最近の母子保健行政の動向
②	講義 母子保健情報の利活 用の視点と地域連携	山梨大学大学院 山縣 然太郎 氏	10:05～ 11:10	母子保健情報の利活用における視点、マイナポ ータル利活用のあり方と地域連携について
③	講義 母子保健情報の活用 と評価ー地区診断と PDCAー	国立保健医療科学院 上原 里程 氏	11:10～ 12:10	母子保健情報の活用と PDCA サイクルに基づ く取組について
④	事例紹介 尼崎市学びと育ち研 究所における EBPM の実践	尼崎市こども青少年局 江上 昇 氏	13:00～ 13:45	尼崎市の学びと育ち研究所の紹介および、デー タ活用による取組について
⑤	グループワーク 各自治体における母 子保健データの活用	山梨大学大学院 山縣 然太郎 氏	13:55～ 15:55	各自治体の母子保健情報に関する現状や課題 を踏まえ、今後の活用等についてグループワー ク

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～④までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。